一般質問

○「ふくしまDC」具体的な集客策は
○姉妹兄弟交流を結ぶ考えはあるか
○消防団員の増強と待遇改善を

菊地　洋議員

質問　平成27年度にＪＲ６社と大手旅行会社で実施される「ふくしまＤＣ」に対して具体的な集客は、どのような方法で何をメインに考えているのか。

産業課長　今年の４月から６月までは「プレＤＣ」と呼ばれ、来年の本番に向けた準備期間として、本町ではＪＲ東日本が企画する「駅からハイキング」とタイアップして、３か月連続して新たなウォーキングイベントを開催している。現在、町としては、ふくしまＤＣでＰＲする観光素材として「岩瀬牧場」や「田んぼアート」「鳥見山公園」を予定しており、周辺市町村と連携を図りながら、旅行会社への商品企画提案を行い、集客したいと考えている。

質問　他市町村と姉妹、兄弟交流を結ぶ考えはあるか。

町長　現在、姉妹交流等を結んでいる市町村はないが、旧かがみサミットや災害派遣そして少年ソフトボール交流、さらには、全国あやめサミット等の関係市町村とは特産品物産交流を行っている。今後こうした自治体との交流について、検討したい。

田んぼアートを観光事業に

質問　ふくしまＤＣにも影響があると思うが、早急な対応を考えているか。

町長　姉妹、兄弟交流については相手市町村の考えもあるので、協議検討することとしている。

質問　「ふくしまＤＣ」で町外や県外から本町に来町された方への「おもてなし」については何か考えているのか。

産業課長　例えば田んぼアート観覧者へは、昨年から「田んボランティア」という名称で町民のボランティアの方に受付案内をお願いしている。今後はさらに研修を重ね、おもてなしガイドボランティアとしての役割を担ってほしいと考えている。景観的には「花」等の植栽で、見た目でのおもてなしを考えている。

質問　消防団員の報酬や出動手当は適正に支払われているか。年額報酬額等は守られているのか。

総務課長　消防団員の報酬や出動手当は「鏡石町消防団設置等に関する条例」に基づき支給されている。一般団員の報酬について県内では、46町村で上から2番目になる。出動手当は一回につき、条例に定められた手当を年2回まとめて支給している。

質問　消防団員の待遇改善や団員を有する企業に対する優遇等を考えているか。

総務課長　消防団員のイメージアップと機能性を図るため、昨年度作業服を新しく更新した。その他、安全装備品の支給や行事の回数も減らすなど消防行事の簡素化にも取組んだ。現在団員の職業調査を実施しており、この調査結果を踏まえ、「消防団協力事業所表示制度」を導入するよう検討している。消防団活動がしやくなるよう環境整備を図っていきたい。

消防団員の待遇改善を

一般質問

○躍進とあしたへの進化とは何か
○ラスパイレス、公債比率の見解は
○人口減社会への対策はあるか
○池ノ原地区の土地利用計画は

木原秀男議員

質問　町長の政治公約「躍進とあしたへの進化」とは具体的に、どのような躍進であり、進化なのか。

町長　町民一人ひとりが幸せを実感でき、笑顔あふれる町づくりを着実に進めることを公約としたものである。

質問　駅に降りてみたい、歩いてみたい、住んでみたい町づくりとは、一体どこをどのように歩かせたいのか。

町長　具体的な取組として「お宝マップ」や「グルメマップ」を作成し、駅からの「さくらウォーク」も実施した。駅トイレ改築なども行い、駅に降りてみたくなる事業と併せて町の魅力を発信したい。

質問　財政健全化について、約百億の借金があり、実質公債費比率県内ワースト2位の現況をどのように考えているか。返済の道筋はあるのか。

町長　繰上償還等を行い、公債費率の改善に努めている。比率的には下がってきているので、今後も事業の選択を行い、財政健全化に取り組む。

質問　財政健全化を目指す上で、ラスパイレス指数に対する見解はどうか。当町においては107．5あるが。

町長　現在100を上回っているが、その理由は平成24年度から26年度まで「国家公務員の給与減額措置」が実施されたためであり、これがなければ、下回る試算である。

質問　財政健全化の観点から、町長の報酬については、そのまま据え置くのか。

町長　2期目についても町三役の減額を考えており、追加議案として提出したい。

質問　スポーツのまちづくりについて、どのような町づくりを進めるのか。例えば、スポーツ合宿補助金制なども考えられるが。

町長　陸上競技場をはじめ、スポーツ施設があるが、誰もが、いつでもスポーツが楽しめるよう施設の充実を図りたい。

質問　人口減少社会に対する当町の対策はあるか。

町長　当町の交通利便性・優位性等を生かし、宅地供給策等を講じて転入者が増えるようにしたい。

質問　特殊出生率の対策はあるか。将来、合併は考えているか。

町長　子育てや働きやすい環境づくりに努めたい。合併は町民の意向を伺いながら検討するべきものと考えている。

質問　人口減社会の対応として将来、一小と二小の統合は考えられるか。

教育長　今後の転出入などの動向を見極め、統合に相応した時期を迎えた場合は、検討する必要があると考えている。

質問　将来、水不足の対策はどうなっているか。水源はいつまで持つのか。

上下水道課長　現在第5次拡張工事を進めている。計画では、一日最大5100㎥の給水量があるため支障が無いと考えている。

質問　池ノ原地区について、今後土地利用計画をどのように考えているか。

健康福祉課長　住民の健康保護のために、市街化区域に隣接する地域を悪臭防止法に基づき、規制地域に指定した。